

ひけつ2 ネットと上手につきあおう

(8) チェーンメールが送られてきたら…

●テーマの背景

チェーンメールは、人から人へメールが転送され、鎖のようにつながる「いたずらメール」です。親切な気持ちや思いやりの心に訴えかけるもの、「チェーンメールを止めると不幸になる」といったように怖がらせるもの、「あのお店はつぶれるらしい」といったいやがらせのメール、人気のTV番組の実験をしてほしいという内容のものなどいろいろあります。

子どもは、チェーンメールを転送してはいけないことは頭で理解していますが、親切な気持ちや思いやりの心に訴えかけるチェーンメールに対して、困っている人を助けようとメールを転送しがちです。また、自分のところでチェーンメールを止めるのがこわいので、チェーンメールを送ってしまいがちです。

●行動目標、学習目標

行動目標	<ul style="list-style-type: none">・チェーンメールを無視して、転送しない。・自分のところでメールを止めるのがこわい場合は、迷惑メールを止める専用のアドレスに送ることができる。
学習目標	<ul style="list-style-type: none">・チェーンメールとはどのようなものか、特徴を理解する。

●指導案

所要時間	学習活動	ファシリテーションの観点からの指導上の注意点	ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点
導入 ① 5分	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに自己紹介する。(名前、学年、好きなアニメなど) 子どもが答えたアニメやキャラクターをネット検索する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の関心を引き出す。 学習会の目的を共有して、意識をそろえる。 グループに分かれる。 自己紹介用のワークシートを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味のあることをネット検索し、インターネットへの関心を引きつける。
導入 ② 5分	<ul style="list-style-type: none"> インターネットをどのように使っているか、参加者同士で意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。
展開 ① 10分	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「チェーンメールが送られてきたら…」のアニメコンテンツを見る。(アニメコンテンツを表示する。) 	<ul style="list-style-type: none"> メールの送受信をしていて、迷惑メールやチェーンメールを受け取ったことがあるかどうか、当事者意識を持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> メールの送受信をしていて、迷惑メールやチェーンメールを受け取ったことがあるかどうかを確認し、身近に感じていることを引き出す。
展開 ② 20分	<p>【ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。 講師からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 正解ではなく、自分の身のまわりのことを考えて、行動を考えさせる。ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> チェーンメールを転送したら、どんなことが起こるかを考えさせる。 チェーンメールの仕組み、手口、チェーンメールを見分けるコツを説明する。
休憩 (10分)			
展開 ③ 25分	<p>【グループディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の気づきを全体で共有することで、新しい発見を生み出す。 話合いの学びを深めるために基本となるルールを共有する。 	
展開 ④ 10分	<p>【チェーンメールの解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> チェーンメールとはどのようなものを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを確認しながら、学んだことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> チェーンメールとはどのようなものかを解説し、注意を促す。
10分	<p>【まとめ・振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだことをワークシートに記入する。 気づきを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを確認する。 振り返りをすることで、感じたことや気づきを定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを日常生活の中で生かすように促す。

●講師シナリオ案

テーマ	講師シナリオ案	発問のポイント
<p>導入①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲を引き出す。 ・お互いの関係性を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。 ・次は皆さんに自己紹介してもらいます。 ・自己紹介用のワークシートに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、好きなもの（色、食べ物など）を記入してください。 ・名札に学習会で読んでもらいたい名前を書いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者それぞれの関心を引き出す。
<p>導入②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、インターネットを使っていますか。どのように使っていますか（メール、音楽のダウンロードなど）。 ・何を使ってインターネットにつながっていますか（携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機など）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な投げかけではなく、双方向コミュニケーションを行い、参加者それぞれの経験をもとに話を広げる。
<p>展開①</p>	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、メールをしていますか。メールをしていて、チェーンメールを受け取ったことはありますか。どんな内容でしたか。 ・チェーンメールとは、人から人へメールが転送され、鎖のようにつながる「いたずらメール」です。 ・これからアニメコンテンツを見ていただきますが、皆さんがインターネットを使っているとき体験しそうなエピソードを扱っています。 ・まずは、登場人物の紹介です。 ・主人公のショウくんは小学5年生。学習用タブレットを買ってもらって、ゲームを楽しんでいます。ある日、ネットニュースを見ていたら、ドキッとしました。 ・それでは早速アニメコンテンツを見てみましょう。（アニメコンテンツを見せる。） ・アニメコンテンツの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンメールを受け取ったことがあるかを確認する。 ・まずはイントロムービーを見せる。
<p>展開②</p>	<p>【個人ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかがでしたか。コンテンツを見てどう思いましたか。感想を聞かせてください（子どもの感想を聞く）。 ・（子ども：チェーンメールを自分のところで止めるのはこわいけど、転送しない。）そうですね。 ・皆さんはどれを選びましたか。①を選んだ人？ ②を選んだ人？ ③を選んだ人？ 手をあげてもらおう。 ・それぞれの選択肢を選んだ理由もきかせてください。 ・選択肢にない行動をとるといふ人はいますか。そして、その理由も聞かせてください。 ・ショウくんはどうすればよかったのでしょうか。ワークシートに、自分がショウくんだったらどんな行動をとるかを書いてください。その理由も書いてください（ワークシートを配る。約10分）。 ・（約8分経過したところで子どもに尋ねる）ワークシートに記入できましたか。（子ども：まだー） ・では、もう少し時間をとりますね。（大多数の子どもが記入できていればOK）。 ・ワークシートに記入できましたか。ここで、休憩を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。 ・子どもがワークシートに記入しているかどうかを確認し、記入できない子どもに対して、わからないことがあるかを尋ねる。 ・途中の段階で、ワークシートに記入できたかどうかを尋ねる。
<p>展開③</p>	<p>【グループディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、グループごとにワークシートに記入したことをもとに話し合ってみましょう。 ・グループごとに司会進行役、記録係、発表者を決めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力が豊かですぐに意見を言える子どももいれば、そうでない子どももいるので、考える時間を設ける。

	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはワークシートに書いたことをグループの中で話してください（どの選択肢を選んだか、その理由、選択肢以外の行動、その理由）（約 15 分）。 ・いろいろな意見が出てきましたね。 ・グループごとに発表しましょう（発表するグループの順番を決める。発表時間約 10 分）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には一人ずつ意見を聞く。発言していない子どもには、意識的に質問を投げかける。 ・グループごとに合意形成の練習をする。 ・全体で意見を共有する。 ・発表に対して、ほめ言葉でコメントする。
展開④	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンメールには、親切な気持ちや思いやりの心に訴えかけるもの、「チェーンメールを止めると不幸になる」といったように怖がらせるもの、人気の TV 番組の実験をしてほしいなんていう内容のものなどいろいろあります。 ・①の選択肢に書かれているように、チェーンメールは、多くの人に迷惑をかけます。たとえば、ある人が 10 人にメールを送り、さらに 10 人の人に送るのを 10 回繰り返したら、何人にチェーンメールが送られると思いますか。9,765,625 人、つまり約 1000 万人にもなります。 ・②チェーンメールを自分のところで止めるのがこわかったら、チェーンメールを送る専用のアドレスがあります。 ・③の選択肢のように、信頼できる大人に相談するのも 1 つの方法ですね。 ・ここで、チェーンメールかどうかを見分けるコツを確認しましょう。 ・まず、「●月●日までに、●●人に転送してください。」と書いてあったら、チェーンメールだと考えてください。 ・ショウクんのところに届いたメールにも、「明日までに友だち 10 人に知らせてください。」と書いてありましたね。 ・自分のところでチェーンメールを止めるのがこわいときは、専用のアドレスに送って止めることができます。解説ページにまとめてあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメコンテンツの中の該当する画面を見せる。
まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・山本家スマホのひけつを確認しましょう。 ・最後は皆さんに、今日学んだこと、感じたことを振り返ってもらいます。 ・「振り返りシート」に記入してください。 ・「振り返りシート」に記入できましたか。感想を聞かせてくれますか。 ・皆さん、とてもいい気づきがありましたね。これからもネットを使っているとき、困ったことがあるかもしれませんが、今日学んだことを思い出して、どのように行動したらいいかよく考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説ページを開く。 ・「振り返りシート」を配る。

ポイント!

チェーンメールを見分けるコツ：

「●月●日までに、●●人に転送してください。」と書いてある。

チェーンメールの捨て場

専用のアドレスに送って止めることができます。

たとえば、

risu1@ezweb.ne.jp

dakef1@docomo.ne.jp

kuris1@t.vodafone.ne.jp